

人権作文

家族や身近な人との関係を見つめ直し、人権や差別について話し合う機会を持ちましょう。

自分を見つめて

阿蘇中央高校 二年

井 詩織

私は、自分から人に話しかけるのが苦手だ。そして、相手に自分の気持ちを伝えられず、言いたいことを結局言えないでいるということがよくある。

元々、私は小さい頃から消極的な性格だった。友達と話すときも、仲の良い友達とはたくさん話せるのに、あまり仲が良くない友達や先生には自分から話しかけるとい

ことがほとんどなかった。本当はたくさん話したいのに、(話しかけると何て思われるかなあ。変なこと言ったら怒らせたりしないかなあ。)と不安ばかりつづいて、結局話しかけずに、相手から話しかけてくれるのを待っていた。

ある日、そんな私に気づいて話しかけてきた友達がいいた。その子は、「詩織ちゃん、もっと話しかけていいとばい。みんなも詩織ちゃんと話したいんだけど。どんどん話しかけていこう!」と言って、私を励ましてくれた。私はその言葉を聞いてとても嬉しかった。こんな私を心配して話しかけてくれる友達がいるんだなあと思うと、本当に嬉しかった。同時に、「このままの自分ではいけない。話しかけて

くれるのを待つだけじゃなくて、自分からもどんな話しかけていこう」と決心した。

それから少しずつ話せるようになっていった。以前は用事がある時だけしか話しかけていなかった友達にも、テレビや好きな芸能人の話題、家での出来事や恋の話など、気軽に話せそうな内容の話題を自分から作って話しかけることができるようになった。そうすると、みんなが、「詩織ちゃん、なんか変わったね!」とか、「前より話しかけやすくなったよ。」と言ってくれるようになった。その時私は、「自分が変わることができたんだ!」と感じた。あの時友達が励ましてくれたおかげだと思ふ。

高校生になってからは、出身中学校が違う人と同じクラスになって、とても不安だったけれど、あの時友達が言ってくれた言葉を思い出して、たくさん話しかけていった。みんな私が話しかけると笑顔で応えてくれて、とても安心して話すことができた。だから打ち解けるのも早く、すぐに友達になることができた。

高校二年生になった今、新しいクラスになって去年違うクラスだった人と同じクラスになった。その人たちとも仲良くなれるように、これからもたくさん話しかけていきたいと思ふ。

人権作文

平成23年度 阿蘇市人権作文集「かけはし」より ※学年は平成23年度時点。

※お詫びと訂正：先月号の人権作文で清水蓮太さんの学年が「3年」となっていますが、正しくは「1年（現在2年）」でした。お詫びして訂正します。



医療法人 坂梨ハート会

さかなしハートクリニック
循環器内科・内科・人工透析・在宅医療

〒869-2307

熊本県阿蘇市小里249番地の2

TEL 0967-24-6262 FAX 0967-24-6266

院長・医学博士

坂梨俊彦

・日本循環器学会循環器専門 医・日本腎臓学会腎臓専門医
・日本内科学会総合内科専門 医・日本透析医学会専門医

- 心臓CT、心臓エコー等により狭心症をはじめ心臓疾患の診断治療
- 在宅療養支援診療所（在宅患者の訪問診療／看護の24時間支援および訪問リハビリ）
- 癌患者の入院機能（有床緩和ケア）を生かした在宅支援（在宅ホスピス）
- 人工透析（午前、午後、夜間および入院透析）

広告